| 被推薦者／応募者 | | | | | | | | | | 応募区域 | 推薦者（個人） | | | | 推薦者（法人・団体） | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| No. | 推薦応募の別 | 氏名 | 年齢 | 性別 | 職業 | 経歴 | | 農業経営の状況 | 推薦・応募の理由 | 応募区域 | 氏名 | 年齢 | 性別 | 職業 | 名称 | 代表者又は管理者の氏名 | 活動の目的 | 構成員数 | 構成員の資格、要件等 |
| 1 | 応募 | 平井　秀昌 | 62 | 男 | 農業 | 昭和60年～平成24年9月<br>平成24年10月～<br>令和元年6月～<br><br>令和2年6月～<br>令和4年8月～ | 民間企業に勤務、週末は農業に従事<br>退職後、専業農家として農業に従事<br>久喜市農業委員会農地利用最適化推進委員（2期目）<br>埼玉みずほ農業協同組合理事<br>羽生領島中領排水路土地改良区総代 | 自己所有農地87a | 令和元年7月から農地利用最適化推進委員として現在2期目。引続き、栗橋2地区において遊休農地の発生防止・解消に向けた活動、担い手への農地集積・集約化の推進活動等、少しでも地域の役に立てればと思い、応募した。 | 栗橋2 | － | － | － | － | － | － | － | － | － |
| 2 | 応募 | 石井　勝巳 | 62 | 男 | 無職 | 令和5年3月 | 一般財団法人東日本小型自動車競走会<br>定年退職 | 10年前より水稲1ha、畑20a | 遊休農地の発生防止・解消に向けた活動をしていきたいと思います。 | 菖蒲9 | － | － | － | － | － | － | － | － | － |
| 3 | 推薦 | 齋藤　貞夫 | 58 | 男 | 自営業 | | 歯科技工士として30年<br>自宅の農業を10年 | 水稲の作付け70a | 齋藤氏は以前より農地を貸したい人を農地の借り手に紹介するということを行っており、遊休農地の減少化に努めている。<br>また、農林業センサスの調査員としても協力している。このため、農地利用最適化推進委員として推薦します。 | 鷲宮1 | 川羽田　昇<br>川羽田　稔<br>川羽田　義美 | 71<br>79<br>71 | 男<br>男<br>男 | 農業<br>農業<br>農業 | － | － | － | － | － |
| 4 | 応募 | 石井　松江 | 58 | 女 | 農業 | | 農業を40年しております<br>米作りです | 米を作付けしております<br>家族のみで耕作しております | 現在、農地利用最適化推進委員として1期目の活動中。引き続き農地パトロールや遊休農地の発生防止、解消に向けた現場活動、担い手への農地集積集約化の推進活動、新規就農の支援活動をしていきたいと思います。 | 菖蒲10 | － | － | － | － | － | － | － | － | － |
| 5 | 応募 | 篠原　幸吉 | 72 | 男 | 農業 | | 国家公務員（全国勤務）40年<br>会社員　17年<br>農地利用最適化推進委員　9年 | 畑40a<br>さつまいも　1,000Kg<br>かぼちゃ　2,000個<br>トラクター2台、耕運機5台所有 | 高齢化による農業従事困難者の増加、担い手が興味を示さない地区等農業環境が厳しくなる状況を踏まえ30ha以上の耕作により農業経営が成り立つ様、出し手探し、農業機械を効率的に使用できる様、畦（あぜ）の撤去等の改善に尽力したい。 | 栗橋4 | － | － | － | － | － | － | － | － | － |
| 6 | 応募 | 橋本　賢治 | 62 | 男 | 団体職員 | 昭和62年8月<br>平成　5年4月<br>令和　5年4月<br>令和　5年8月 | 栗橋町農協入職<br>埼玉みずほ農協（合併）<br>嘱託職員として現在勤務中<br>久喜市農業委員会農地利用最適化推進委員 | 団体職員として地元JAに勤務しながら、家族とともに水稲200a・畑10aの作業に従事しています。 | 農業の高齢化、後継者不足、耕作放棄地の増加等課題がある中で、松永地区でも以前は20件近い農家がありましたが、今では4件しかありません。約2年間、農地利用最適化推進委員として活動してきて改めて現状を再認識しました。地域が抱える問題について一つでも協力し良い方向に向かって行って欲しいのと今までの経験を活かし、農業委員と連携し地域の為、いち担い手としても活動して行きたいと思い応募いたしました。 | 栗橋1 | － | － | － | － | － | － | － | － | － |

| 被推薦者／応募者 | | | | | | | | | 応募区域 | 推薦者（個人） | | | | 推薦者（法人・団体） | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| No. | 推薦応募の別 | 氏名 | 年齢 | 性別 | 職業 | 経歴 | | 農業経営の状況 | 推薦・応募の理由 | 応募区域 | 氏名 | 年齢 | 性別 | 職業 | 名称 | 代表者又は管理者の氏名 | 活動の目的 | 構成員数 | 構成員の資格、要件等 |
| 7 | 応募 | 飯田　実 | 70 | 男 | 農業 | 平成29年から3期目<br>令和元年年から2期目<br>令和4年から1期目 | JA総代<br>小林・栢間土地改良区総代<br>農地利用最適化推進委員 | 水稲のみ180a | 農業委員と共に遊休農地の有効活用に努めたいと思います。 | 菖蒲6 | － | － | － | － | － | － | － | － | － |
| 8 | 推薦 | 岩崎　正 | 66 | 男 | 農業 | | 杉戸農業高校卒業<br>JA総代（現）<br>農業委員会協力員経験あり | 田60a<br>畑40a | 候補者は、兼業農家として会社員をしながら野菜を中心に農業に従事してきました。遊休農地や不耕作地の解消に熱心に取り組み農地利用最適化推進委員として適任と思い推薦します。 | 菖蒲8 | － | － | － | － | 菖蒲第24地区 | 深谷　英治 | 住みやすい地域に | 155人 | 菖蒲第24地区区長 |
| 9 | 応募 | 森田　清 | 77 | 男 | 農業 | | 2011年9月末退社にて農業に専念（水稲栽培を主に梨栽培を少し）。現在は、水稲栽培のみを行っています。<br>小林・栢間土地改良区総代在任中。 | 現在は、水稲約220aで就農中。畑は自家消費分のわずかな栽培中。 | 現在、農地利用最適化推進委員として1期目の活動中。引き続き農地パトロールや遊休農地の発生防止、解消に向けた現場活動、担い手への農地集積・集約化の推進活動、新規就農の支援活動をしていきたい。 | 菖蒲11 | － | － | － | － | － | － | － | － | － |
| 10 | 応募 | 眞田　嘉雄 | 75 | 男 | 農業 | 昭和42年4月～昭和62年3月<br>昭和62年4月～平成8年3月<br>平成8年4月～平成29年6月<br>令和2年4月～<br>令和7年1月 | 国鉄、家族で農業<br>JR東日本、家族で農業<br>JRグループ会社出向<br>久喜72区（所久喜）区長<br>農林業センサス調査員 | 水稲40a<br>野菜他10a | 今年農林業センサスで農家を調査した所、高齢の為離農した方が多く、営農したくても農業機械や肥料の高騰でやっていけないなどの意見が多く、耕作放棄地や農道や用水路の荒廃が懸念される。小規模農家の支援の一助となり、適正な維持管理を望み、今回推進委員に応募した。 | 久喜3 | － | － | － | － | － | － | － | － | － |
| 11 | 応募 | 阿部　文雄 | 74 | 男 | 農業 | 昭和44年～平成26年<br>平成27年～<br>平成28年～<br><br>令和2年4月～令和4年3月<br>令和3年6月～<br><br>令和4年7月～<br><br>令和7年1月9日～3月7日 | 会社勤務兼家族による農業に従事<br>専業農家<br>多面的支払交付金による農地維持活動「六万部裏方農振会会員」<br>久喜第66区区長<br>久喜市所久喜・六万部地区農地中間管理事業に協力員として参画<br>久喜市農業委員会農地利用最適化推進委員<br>2025年農林業センサスの調査員 | 水稲80a<br>野菜10a（直売所） | 現在、久喜市農業委員会農地利用最適化推進委員一期目の3年間が立とうとしているが、農業の担い手は耕作者が増えるまでもなく、高齢化が進んでいる。また、久喜市所久喜・六万部地区中間管理事業に協力員として参画し、ついに令和7年4月から事業が始動することになった。今後10年先を見据えて地域農業の適正な維持管理に推進委員として取り組みたいと思い応募した。 | 久喜2 | － | － | － | － | － | － | － | － | － |
| 12 | 応募 | 小川　勝 | 81 | 男 | 農業 | | 農地利用最適化推進委員3期 | 稲作1．6ha | 推進委員3期の経験を生かし地域農業の振興と耕作放棄地の解消に努めます。 | 栗橋3 | － | － | － | － | － | － | － | － | － |
| 13 | 応募 | 早川　富夫 | 66 | 男 | 無職 | | 除堀土地改良水利組合筆頭会計 | 田1,248㎡　畑178㎡　耕作 | 遊休農地が多くなってきているため、解消に向けて活動していきたい。 | 久喜6 | － | － | － | － | － | － | － | － | － |

| 被推薦者／応募者 | | | | | | | | | 応募区域 | 推薦者（個人） | | | | 推薦者（法人・団体） | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| No. | 推薦応募の別 | 氏名 | 年齢 | 性別 | 職業 | 経歴 | 農業経営の状況 | 推薦・応募の理由 | 応募区域 | 氏名 | 年齢 | 性別 | 職業 | 名称 | 代表者又は管理者の氏名 | 活動の目的 | 構成員数 | 構成員の資格、要件等 |
| 14 | 応募 | 尾野　洋子 | 46 | 女 | 農業 | 令和4年より菖蒲5にて農地利用最適化推進委員として活動 | 就農9年目。主に梨85a水稲150aを作付し家族経営で生産、販売。特産の梨に関してはS－GAPを取得し、自家直売やオンライン、久喜市のふるさと納税に登録。また、女性グループのみで結成する梨の技術を高め合う勉強会も開催し活動中。 | 前期令和4年より農地利用最適化推進委員として女性ならではの視点で地域と関わってきました。現状が少しずつ把握できてきた中で微力ながらも少し地域の改善や見守りに尽力したいと思い応募させていただきました。 | 菖蒲5 | － | － | － | － | － | － | － | － | － |
| 15 | 応募 | 山野井　一夫 | 67 | 男 | 農業 | 昭和57年～令和2年<br>平成24年～ | 会社勤務<br>父が亡くなったため、会社勤務しながら農業を行い、現在に至る。<br>会社退職後は、農協に勤務（令和3年～令和6年・非常勤）しながら農業を続けた。<br>現在は、久喜市シルバー人材センターにて派遣労働会員として働きながら農業を行っている。<br>現在、農地利用最適化推進委員1期目。 | 稲作12,000㎡<br>機械等は全て自家用 | 現在、農地利用最適化推進委員（1期目）ですが、この3年間地元農業従事者の農地の利用状況や遊休農地の実態を見てきました。<br>これからも地域の農業の為、引き続き頑張っていきたい気持ちから応募しました。 | 栗橋5 | － | － | － | － | － | － | － | － | － |
| 16 | 推薦 | 岸　俊行 | 45 | 男 | 農業 | 平成26年3月<br>平成14年4月 | 東京農業大学経済食料情報学科卒業<br>農業に従事。主に田、胡瓜、梨の栽培を手掛け現在に至る。 | 水田11,233㎡<br>きゅうり2,165㎡<br>梨3,475㎡ | 東京農業大学を卒業後速やかに農業に従事し今まで真剣に取り組んでいます。長い間培った経験を活かし地域農業の発展のため、農業委員と連携し貢献できる推進委員にふさわしい人材です。 | 菖蒲7 | 長谷川　秀之<br>長谷川　勲<br>原　義雄 | 69<br>73<br>56 | 男<br>男<br>男 | 農業<br>農業<br>農業 | － | － | － | － | － |
| 18 | 応募 | 野本　謙一 | 74 | 男 | 農業 | 平成14年<br>平成14年<br>平成14年<br>令和元年 | 民間企業退職<br>埼玉みずほ農協理事（3年）<br>外野自治会会長（6年）<br>農地利用最適化推進委員（6年） | 昭和44年～　米作中心の経営（父親中心とした農業）<br>平成24年～　米作中心の経営（退職後専念）<br>令和4年～　野菜作りのみ（水田住宅開発により売却） | 推進委員の欠員もあり、経験を生かし引き続き推進委員をやる事に決めました。 | 鷲宮6 | － | － | － | － | － | － | － | － | － |
| 19 | 応募 | 平林　勝博 | 73 | 男 | 無職 | 昭和49年3月<br>昭和49年4月～平成24年2月<br>平成24年3月～平成28年2月<br>平成28年2月末日<br>平成28年1月～<br><br>平成28年7月～現在<br>現在 | 早稲田大学理工学部機械工業科卒業<br>オルガノ(株)勤務<br>オルガノプラントサービス(株)勤務<br>同上会社退社<br>アグリテクノ平林(株)設立、代表取締役社長就任　大規模農業の専任者を目標として始動する<br>農地利用最適化推進委員（3期）<br>久喜市水道事業運営審議会委員3期目<br>久喜市下水道・農業集落排水事業運営審議会（副会長）（3期目） | 家庭菜園程度 | 久喜市内の農地は有効利用されているとは思えず、全国的な農業問題の典型があるように思えた。<br>過去16年間、素人ではあったが、農業従事を過去経験し、何とかしなければならない、との思いでいっぱいである。<br>問題点とは、今までずっと言われてきているが、<br>1.農業継承者が減ってきている。若者はやりたがらない。従事者の高齢化。<br>2.耕作放棄地が増えている。<br>3.農業はもうからない、が定説。したがって1、2が台頭。<br>4.農産物の販売ルートが農協、地元直販に限られている。付加価値を付けてブランド化的な販売が販売価格を押し上げられるのではないか。<br>等であり、何とかしなければ久喜市はもとより、日本全体の農業は衰退していくのではないかと危惧している。<br>そこで、小生は大規模農業をめざし、且つ、儲かる農業とはどういうものか、を探求するために、一時法人を立ち上げた。<br>今回、農地利用最適化推進委員への参画が、小生の会社設立の目的と合致すると考え、さらに市を挙げて取り組む問題を共同で解決可能とみて応募した。 | 久喜1～7 | － | － | － | － | － | － | － | － | － |

| 被推薦者／応募者 | | | | | | | | | | 応募区域 | 推薦者（個人） | | | | 推薦者（法人・団体） | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| No. | 推薦応募の別 | 氏名 | 年齢 | 性別 | 職業 | 経歴 | | 農業経営の状況 | 推薦・応募の理由 | 応募区域 | 氏名 | 年齢 | 性別 | 職業 | 名称 | 代表者又は管理者の氏名 | 活動の目的 | 構成員数 | 構成員の資格、要件等 |
| 20 | 応募 | 遠藤　正幸 | 66 | 男 | 農業 | 令和元年～現在 | 農地利用最適化推進委員2期 | 米、野菜、花（自己所有農地1.6ha） | 一生産農家として刻々と変化する世界経済の中、日本の農業のあるべき姿を日々模索しております。その中で、農業に携わって45年の体験を生かして先ずは地域農業の推進の一助になればと応募いたしました。 | 栗橋6 | － | － | － | － | － | － | － | － | － |
| 21 | 応募 | 折原　貞夫 | 77 | 男 | 農業 | 昭和45年3月<br>昭和47年3月<br>昭和47年4月<br><br>平成20年3月<br>現職時<br><br>平成12年<br><br>平成25年～現在<br><br>令和元年～3年 | 東京教育大学農学部卒<br>東京教育大学大学院修士課程修了<br>東京都公立学校高校教諭（理科・生物・化学担当）になる 鷲宮高校、本所高校、足立高校、竹早高校など経歴<br>定年退職　その後再任用3年<br>海外派遣教諭　アメリカ、ニュージーランドに勤務<br>父の死亡に伴い教員の勤務の傍ら長男のため家業の農業を継承し現在に至る<br>久喜市教育委員会理科支援員、本樹塾教師<br>南彩農協理事 | 一昨年までは稲作約1町、野菜類、果樹を2反<br>現在は高齢のため稲作をやめて保全管理<br>一部は貸農園またはサツマイモ、サトイモなど畑作中心に栽培し、出荷しています | 私の住む地区は久喜駅東口に近く、かつては水利の便も良く稲作が盛んでしたが、都市化が進み、また、農業後継者が少なくなり、農業を守ろうとする人が少ない現状です。今後、農業地域を有効に活用し、地域の環境をどう守っていくか考えさせられます。<br>私の地域の担当の農業委員さんから農地利用最適化推進委員への応募を進められました。 | 久喜7 | － | － | － | － | － | － | － | － | － |
| 22 | 応募 | 渡辺　祥克 | 46 | 男 | 農業 | 令和元年～現在<br>令和2年<br>令和7年 | 農地利用最適化推進委員（2期）<br>農林業センサス調査員<br>農林業センサス調査員 | 果樹（梨）幸水、豊水、彩玉など2.5ha経営 | 現在2期目。引き続き農地パトロール、新規就農支援、担い手の農地集積、集約、地域支援に役立てればと思い応募しました。 | 鷲宮2 | － | － | － | － | － | － | － | － | － |
| 23 | 応募 | 矢野　学 | 52 | 男 | 農業 | | 埼玉県立杉戸農業高等学校卒業<br>（株）ダイエー入社<br>（株）ローソン入社<br>現在就農23年目<br>久喜市商工会総代<br>鷲宮保育園保護者会長<br>鷲宮西中学校PTA会長<br>鷲宮西中学校PTA顧問<br>埼玉県PTA連合会埼葛地区副会長<br>鷲宮商工会青年部部長<br>埼玉県立杉戸農業高校PTA会長<br>農業委員<br>農地利用最適化推進委員<br>民生委員・児童委員（主任児童委員） | 水稲500a<br>日本梨90a<br>いちご8a<br>その他30a | ・新規就農者、担い手の経営等の相談に応じ、農地集約に繋げ経営拡大、遊休農地の縮小を行っていきたい。<br>・将来の担い手が一人でも多くなるよう、小学校、中学校、高校生、大学校生等の現場実習の受け入れ、農業経営について講義等を行っている。<br>・自身の農業経営についても農業委員会を通じて、地域の連携を行いたい。 | 鷲宮3 | － | － | － | － | － | － | － | － | － |
| 24 | 応募 | 芝崎　千皓 | 30 | 女 | 会社員 | 令和6年 | 就農 | 野菜20a<br>直売所やオンライン販売 | 近年、久喜市でも農業の高齢化、担い手の減少や耕作放棄地の増加が懸念されております。<br>農地パトロールや問題解消に向けた現場活動、新規就農者の支援活動など地域のため活動していきたいと思い応募しました。 | 鷲宮5 | － | － | － | － | － | － | － | － | － |
| 25 | 応募 | 吉田　茂 | 70 | 男 | 農業 | 平成30年<br>令和3年・4年<br>現在 | 高校卒業後、苺、米、梨を作付け<br>27才の時、父が亡くなり、その後米と梨だけにして中村水道に勤めるようになり、58才で辞めて米と梨づくりに専念する<br>南彩農協総代（3期）<br>久喜梨組合組合長<br>埼玉県果実連合会副会長 | 水稲130a<br>梨23a | 毎日のようにテレビで米の価格のニュースが報道されています。これから先、遊休農地が減り農地が農地として活用されるよう活動と我が太田袋地区に若い30代の農業青年が2人就農しています。これからも温かく見守り、そして新規就農者が生まれるよう支援活動していきたい。 | 久喜5 | － | － | － | － | － | － | － | － | － |

| 被推薦者／応募者 | | | | | | | | | 応募区域 | 推薦者（個人） | | | | 推薦者（法人・団体） | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| No. | 推薦応募の別 | 氏名 | 年齢 | 性別 | 職業 | 経歴 | 農業経営の状況 | 推薦・応募の理由 | 応募区域 | 氏名 | 年齢 | 性別 | 職業 | 名称 | 代表者又は管理者の氏名 | 活動の目的 | 構成員数 | 構成員の資格、要件等 |
| 26 | 応募 | 長谷川　恭兵 | 43 | 男 | 農業 | 現在就農22年目 | 梨　約1町1反<br>ぶどう　約0.8a<br>苺　約1反<br>米　3町 | 長年、地域の農業に携わり、その発展に貢献したいと思っています。<br>近年、地域では高齢化が進み、後継者不足の深刻化、遊休農地も増加しています。<br>農地利用最適化推進委員として私は以下のことを実現したいと考えています。<br>・新規参入者や将来を担う若い世代の育成<br>・遊休農地の活用<br>・地域農業発展に貢献<br>農地利用最適化推進委員として地域の農業の発展のために頑張りたいと思います。 | 菖蒲3 | － | － | － | － | － | － | － | － | － |